

## 常陸宮賜杯第72回中部日本スキー大会開催要項

1. 期 日 2022年1月28日(金)～30日(日)
2. 会 場 福井県大野市 大野市九頭竜スキー場、大野市 DAINOU スポーツランド
3. 主 催 静岡・愛知・三重・岐阜・富山・石川・福井 各県スキー連盟  
大野市、大野市教育委員会、中日新聞社、北陸中日新聞、日刊県民福井
4. 共 催 福井県、福井県高等学校体育連盟、福井県中学校体育連盟
5. 後 援 (公財)福井県スポーツ協会、大野市スポーツ協会  
静岡県・愛知県・三重県・岐阜県・富山県・石川県  
静岡・愛知・三重・岐阜・富山・石川 各県高等学校体育連盟、各県中学校体育連盟
6. 主 管 福井県スキー連盟、大野市スキー連盟
7. 協 賛 大野商工会議所、(一社)大野市観光協会、森山観光㈱、  
(一財)大野市公共施設管理公社、大野観光自動車㈱、大野市旅館業組合、  
ハウジツ㈱、㈱メンテナンスカムラ、

### 8. 競技実施要項

#### (1) 種目、参加人員

性 別 組 別 種 目	男 子							女 子				
	成 年					少年	中学	成 年			少年	中学
	A	B	C	D	E			A	B	C		
アルペン(ジャイアントスラローム)	6	5	4	3	3	6	13	4	3	3	5	13
クロスカントリー(10km クラシカル)	6	5				6						
クロスカントリー(5km クラシカル)			4	3			13	4	3		5	
クロスカントリー(3km クラシカル)					3					3		13
クロスカントリー(10km フリー)	6	5				6						
クロスカントリー(5km フリー)			4	3			13	4	3		5	
クロスカントリー(3km フリー)					3					3		13

#### ・中学の部出場枠について

各県は、各種目2名以内の補欠選手をエントリーできる。

欠場する選手と補欠選手との交替を希望する場合は、1月28日の組織委員会までに交替届(様式は任意。ただし、参加県・種目・欠場する選手と補欠選手・交替の必要な理由を明記したもの。)を文書にて提出し、承認を得ること。(シード変更はない)

#### (2) 日程

期 日	時 刻	式典・競技	会 場
1月28日(金) (第1日)	<del>14:30</del> 10:00～11:00 <del>15:00</del> 11:00～12:00 <del>15:00～15:40</del>	組織委員会 監督会議 <del>開会式</del> 中止	結とびあ (多田記念大野有終会館)
1月29日(土) (第2日)	10:00～ 10:00～ 競技終了後	ジャイアントスラローム(中学) クロスカントリー(クラシカル) 表彰式	九頭竜スキー場 DAINOU スポーツランド 各競技会場
1月30日(日) (第3日)	10:00～ 10:00～ 競技終了後 <del>15:00～</del>	ジャイアントスラローム(少年・成年) クロスカントリー(フリー) 表彰式 <del>閉会式</del> 中止	九頭竜スキー場 DAINOU スポーツランド 各競技会場 パークホテル九頭竜

総合表彰式は人数を限定して行う

※選手および全ての関係者は2週間前からの体調チェックシートの提出が必須

### (3) 参加資格

- ① 2021年12月30日現在において、関係所属県スキー連盟SAJ登録会員でその県下に在住または在勤、在学者であること。
- ② 関係所属県スキー連盟の推薦を受けたもの。
- ③ 大学生で関係所属県以外の都道府県にある大学に在学のものは、最終出身高校の所属県スキー連盟から出場できる。
- ④ 少年の所属は現住所、勤務地または高等学校（全日制、定時制の生徒）、高等専門学校のいずれかの1か所とする。
- ⑤ 中学は当該中学校長・保護者の承認を得たもの。
- ⑥ 第77回国民体育大会実施要項による「ふるさと選手制度」に登録されたもの。
- ⑦ 性別、種目別、部別の参加は次のとおりとし、年齢区分は下記の生年月日で区切るものとする。

【男子】 ジャイアントスラローム・クロスカンントリー（C、D、中学区分のXCは5km、E区分のXCは3km）

#### 〔ア〕 成年

- ・ A（18歳以上26歳未満）1995年4月2日以降、2003年4月1日以前に生まれた者
- ・ B（26歳以上34歳未満）1987年4月2日以降、1995年4月1日以前に生まれた者
- ・ C（34歳以上44歳未満）1977年4月2日以降、1987年4月1日以前に生まれた者
- ・ D（44歳以上54歳未満）1967年4月2日以降、1977年4月1日以前に生まれた者
- ・ E（54歳以上）1967年4月1日以前に生まれた者

#### 〔イ〕 少年

- ・ 2003年4月2日以降、2006年4月1日以前に生まれた者

#### 〔ウ〕 中学

- ・ 2006年4月2日以降、2009年4月1日以前に生まれた者

【女子】 ジャイアントスラローム・クロスカンントリー（C、中学区分のXCは3km）

#### 〔ア〕 成年

- ・ A（18歳以上24歳未満）1997年4月2日以降、2003年4月1日以前に生まれた者
- ・ B（24歳以上29歳未満）1992年4月2日以降、1997年4月1日以前に生まれた者
- ・ C（29歳以上）1992年4月1日以前に生まれた者

#### 〔イ〕 少年

- ・ 2003年4月2日以降、2006年4月1日以前に生まれた者

#### 〔ウ〕 中学

- ・ 2006年4月2日以降、2009年4月1日以前に生まれた者

- ⑧ 参加は1名につきクロスカンントリーか、アルペンのいずれかの部に限る。
- ⑨ 参加資格に疑義のある場合は、本大会組織委員会がこれを調査審議し、処理する。

### (4) 競技採点方法

- ① 各部別の合計点で各県の優勝順位を定める。但し、同点の場合は上位入賞の数による。（上位入賞とは、1位～3位までの入賞をいう。）
- ② 一つの県における種目の得点対象は、各種目とも該当県の上位3名までとし、以下得点対象者を順次繰り上げる。
- ③ 各種目別の得点は、次のとおりとする。

種 目	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
G・スラローム	16	14	12	10	8	6	4	2

クロスカントリー (クラシカル)	8	7	6	5	4	3	2	1
クロスカントリー (フリー)								

※出場者数が8人を下回った場合は、出場者数に応じて下位得点から上位順の得点とする。

#### (5) 競技規程

- ① 全日本スキー連盟競技規則最新版を準用する。但し、本大会組織委員会の規程を優先する。
- ② ジャイアントスラローム競技は1本とする。
- ③ ジャイアントスラローム競技のスキー道具については、2021/2022シーズンのF I S競技用品規格を推奨する。
- ④ クロスカントリー競技はインターバルスタート方式を採用する。

#### 9. 表彰

- (1) 男女総合第1位の県に常陸宮賜杯を授与し、第3位まで表彰する。
- (2) アルペン競技男女総合第1位～第3位、クロスカントリー競技男女総合第1位～第3位までに中日新聞社賞を授与する。
- (3) 各部入賞者のうち少年・成年の部は第3位まで、中学の部は第6位まで表彰し、第1位～第3位には中日新聞社メダルを授与する。
- (4) 表彰式について
  - ・競技種目は、第1日目、第2日目ともに各競技会場にて表彰する。
  - ・総合成績は、閉会式にて表彰する。

#### 10. 参加申込

- (1) 参加申込 参加申込一覧表を1部提出する。
- (2) 参加料 1人1種目 2,500円  
開会式当日までに振込みにて納入すること。

＜納入先＞	
金融機関	福井銀行 大野支店
口座番号	(普) 6078010
口座名義	第72回中部日本スキー大会実行委員会 事務局長 横井一博 (ダ`イナジ`ユウ`カ`イ`ユウ`ブ`ニ`ホ`ン`スキ`タ`イ`カ`イ`ジ`ツ`コ`ウ`イ`ン`カ`イ)

- (3) 傷害保険 各県選手団の役員及び選手は、各県で傷害保険に加入済であること。
- (4) 申込期日及び申込先
  - ① 期 日 2022年1月21日(金) 15時必着
  - ② 申込先 〒912-0044 福井県大野市桜塚町601番地  
エキサイト広場総合体育施設 大野市健福祉部スポーツ推進課内  
常陸宮賜杯第72回中部日本スキー大会実行委員会事務局  
(TEL) 0779-65-5592 (FAX) 0779-66-6308  
(Eメール) sports@city.fukui-ono.lg.jp
  - ③ 申込方法 参加申込書は郵送で、申込書データはEメールで送ること。  
参加申込書様式データは各スキー連盟に送付します。

#### 11. 抽選方法

- (1) 出走順について
  - ① 出走順は第1グループから順にスタートする。
  - ② 各県申込ランキングの順位ごとに抽選を行う。
- (2) 各競技のシード枠人数及びランキング順は次表のとおり

・アルペン競技（成年・少年の部）

人数 グループ	1	2	3	4	5	6
第1グループ	1	1	1	2	2	2
第2グループ		1	1	1	2	2
第3グループ			1	1	1	2

ランキング	グループ
1	第1グループ
2	第2グループ
3	第3グループ

・アルペン競技（中学の部）

人数 グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
第1グループ		1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3
第2グループ	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3	3
第3グループ			1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3
第4グループ				1	1	1	1	1	2	2	2	2	2
第5グループ					1	1	1	1	1	2	2	2	2

ランキング	グループ
1	第1グループ
2	第2グループ
3	第3グループ
4	第4グループ
5	第5グループ

少年の部)

人数 グループ	1	2	3	4	5	6
第1グループ			1	1	1	2
第2グループ		1	1	1	2	2
第3グループ	1	1	1	2	2	2

・クロスカントリー競技（成年・

ランキング	グループ
1	第3グループ
2	第2グループ
3	第1グループ

・クロスカントリー競技(ク

ラシカル・フリー)（中学の部）

人数 グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
第1グループ				1	1	1	1	2	2	2	3	3	3
第2グループ			1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3
第3グループ	1	1	1	1	2	2	2	2	3	3	3	3	4
第4グループ		1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	3	3

ランキング	グループ
1	第4グループ
2	第3グループ
3	第2グループ
4	第1グループ

1 2. 現地大会本部

現地大会本部は以下のとおりとする。

所在地 〒912-0217 福井県大野市角野14-3

国民宿舎 パークホテル九頭竜内

期 間 2022年1月27日（木）～30日（日）

1 3. 宿 泊

各県選手団（選手・監督・コーチ・本部役員）の宿泊に関しては、別に定める常陸宮賜杯第72回中部日本スキー大会宿泊要項によるものとする。

1 4. 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症に関しては、別に定める新型コロナウイルス感染症ガイドラインによるものとする。

## 常陸宮賜杯第72回中部日本スキー大会 新型コロナウイルス感染症ガイドライン

本ガイドラインは（公財）日本スポーツ協会スポーツイベント開催ガイドライン、スポーツ庁社会体育施設ガイドラインおよび各種スポーツ大会のガイドラインを参照し、作成したものである。今後の状況に応じて随時、見直しを行うものとする。

### 1. 大会の開催判断について

#### ① 大会開催要件

中部日本スキー大会は、昭和26年から、中部7県（静岡、愛知、三重、岐阜、福井、富山、石川）の強い連帯と友愛の絆により、中部日本最大のスノースポーツの祭典として開催してきている大会であることから、感染症予防対策のため、いずれか1県でも参加が不可能となった場合には開催を中止とする。

#### ② 判断基準

国および県、全日本スキー連盟が発表する新型コロナウイルスに関するガイドラインに基づき開催を判断する。なお、中部7県のいずれかの県において次の事項に該当する場合は、開催を中止とする。

- (1) 国または各県及び県内の各市町村や地域において緊急事態宣言・まん延防止等重点措置が発令・適用された場合
- (2) 国または各県においてイベント開催の自粛の要請があった場合
- (3) 国または各県において県外への移動制限がある場合

#### ③ 開催判断基準日

開催の判断は11月末とし、検討会を開催し決定する。

以降、上記判断基準に該当した場合にはその時点で中止とする。

また、1月上旬と大会1週間前には検討会選出の委員において感染状況等を再確認し、開催判断をする。

### 2. 大会開催における感染症対策

#### ① 基本事項

- ・ 3密にならない工夫をすること。
  - 密閉空間（換気の悪い密閉空間）
  - 密集場所（多くの人が密集している）
  - 密接場面（近い距離での会話や発声）

- ・マスク着用の徹底（運動時を含まない。）
- ・手洗い、うがい、手指消毒の徹底。
- ・施設の入口、受付などには手指消毒液を設置すること。
- ・選手、監督、コーチ、競技役員、観戦者などすべての大会関係者について、2週間前から大会当日まで以下の確認事項に該当する場合は大会の参加を見合わせる。また、体調チェックシートを2週間前（1月15日（土））から記入し主催者指定の場所に提出すること。チェックシートの提出の有無を判断するためにシールやバンドで区別する。

**確認事項**：以下の事項の有無（該当する場合は参加を控えること。）

- (1) 37.5℃を超える発熱
  - (2) 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
  - (3) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - (4) 嗅覚や味覚の異常
  - (5) 体が重く感じる、疲れやすい
  - (6) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - (7) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - (8) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある。
- ・主催者の指示を遵守できないものは、他の参加者の安全を確保する観点から、大会の参加を認めない。

## ② 会議・式典関係

- ・入口に検温機および消毒液を設置すること。
- ・換気扇を回す、扉を開けるなど換気のいい空間にする。
- ・各県の選手団の人数を制限すること。
- ・入場者（選手、来賓、係員等）は必ずマスクを着用し、大声での会話を控えること。
- ・開会式でのあいさつなどマスクを外して話す場合は、フェイスシールドもしくはマウスシールドの着用または演台にアクリル板を設置すること。
- ・使用するマイクはこまめに消毒を行うこと。
- ・表彰式および閉会式は主催者が代表し写真撮影を行うなど、時間短縮に心掛ける。  
（撮影した写真はホームページに掲載し周知を図ること。）

## ③ 競技運営関係

### （競技役員）

- ・各係員は必ずマスクを着用する。
- ・スタート係、フィニッシュ係、受付係など選手と接触する可能性がある係員はビニール手袋を着用する。（必要であればフェイスシールドを着用）
- ・招集係など大きな声を出す係員は、拡声器を使う。

#### (Web 媒体の活用)

- ・公式掲示板および速報掲示板に人が集まる可能性があることから、掲示板の分散およびホームページ等の Web 媒体を活用すること。
- ・受付時のやり取りを削減するため、可能な限りインターネット、メールなどの電子データでやり取りを行うこと。

#### (競技本部、放送室、計時計算室)

- ・各部屋において、入室する人数を制限すること。
- ・受付など人が対面する場所にはアクリル板または透明ビニールカーテンを設置すること。
- ・複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、マイク、テーブル、イス等）について、こまめに消毒をする。

#### (救護)

- ・周辺の病院および消防署等に大会開催を事前に説明し、医療および救急体制を確認しておくこと。
- ・救護に従事する役員はマスク、フェイスシールド、ビニール手袋を必ず着用すること。
- ・新型コロナウイルス感染の疑いのある選手がいる場合は、保健所等の関係機関の指示に従い対応すること。
- ・着用したマスク、ビニール手袋はビニール袋などで密閉し処分すること。また、手袋を外した後は石鹸での手洗いおよび手指消毒を行うこと。

#### (トイレ、洗面所)

- ・手洗い場に石鹸を用意する。
- ・「手洗いは石鹸を使って30秒以上」の張紙を貼る。
- ・手洗い後に手をふくためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。または、参加者にマイタオル持参を求める。
- ・複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）について、こまめに消毒をする。

#### (更衣室、休憩スペース)

- ・密な状態にならないよう人数制限を設ける。
- ・複数の利用者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）について、こまめに消毒をする。
- ・換気扇を常に回す、窓を開けるなど換気に配慮する。

#### (ごみの管理)

- ・ごみの廃棄については唾液や鼻水等が付いたごみがある場合もあるので、すべてビニール袋で密閉し処理すること。
- ・回収する人は必ずマスクおよび手袋を着用し、手袋を外した後は石鹸での手洗いおよび手指

消毒を行うこと。

#### ④ 参加者関係

(大会前)

- ・参加者全員【選手、監督、コーチ、視察団等も含む】の情報（所属先、氏名、年齢、連絡先等）を各県の代表者の責任で取りまとめ主催者へ提出すること。【大会参加申込書に記入欄を追加】（※個人情報の管理は十分に注意すること。）
- ・厚生労働省から提供されている新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を積極的に活用すること。

(大会期間中)

- ・大会会場へ出発前に体調チェックを行い、異常がある場合は参加を控えること。
- ・競技会場では常にマスクまたはネックウォーマーなど口元を覆うものを必ず着用すること。
- ・選手は、ウォーミングアップや競技中など活動に支障があると判断できる場合を除き、マスクまたはネックウォーマーなど口元を覆うものを必ず着用すること。
- ・選手控室テントは各県専用とし、他県の関係者は入室しないこと。
- ・宿泊時は、感染リスクを減らすため、不要不急の外出を避けること。

(大会終了後)

- ・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症の陽性が確認された場合は、速やかに濃厚接触者の有無等を主催者に報告すること。

#### ⑤ 観戦者関係

- ・観客の有無は、施設の広さや設備、予想される観客数等を総合的に考慮し別途定める。
- ・観客を動員する場合には、観客同士が密にならないように観客エリアを指定する。
- ・主催者が指定する観客エリアに入場する方は、選手と同様に2週間前から体調チェックシートの提出を求める。
- ・必ずマスクを着用し、大声での応援はせず、なるべく会話は控えること。

#### ⑥ 宿泊関係

- ・各宿泊施設は全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会の宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドラインを参考に対応すること。
- ・ワックスルームは3密空間になることが予想されることから、マスクの着用や人数制限、定期的な換気など各県において対策を徹底すること。



## 常陸宮賜杯第72回中部日本スキー大会 体調チェックシート (大会2日目用)

※大会初日に2週間チェックシート提出済みの方のみ

本チェックシートは本大会関係者の体調を記録し、事前に把握するためのものです。

本個人情報厳正に管理し、第三者には提供いたしません。ただし、本大会から新型コロナウイルス感染症の陽性が確認された場合には、関係機関の求めに応じて個人情報を提供させていただきます。

### 《参加者情報》

参加区分 (該当区分に○を)		選手 ・ 監督、コーチ ・ 競技役員 ・ その他	
県名		氏名	

※該当する場合は✓を記入すること (体温0.1℃単位の数字を記入)

No.	チェックリスト	1/30 (日)
1	37.5℃を超える発熱がある	
2	せき、のどの痛みがある	
3	だるさ(倦怠感)、息苦しさがある	
4	味(味覚)、におい(嗅覚)に異常がある	
5	体が重く感じる、疲れやすい等の症状がある	
6	新型コロナウイルス感染症陽性者との濃厚接触がある	
7	同居家族、身近な知人に感染の疑いのある人がいる	
8	体温	℃